

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	過疎化が進む望月地域ですが、ものづくりや芸術関係、食関係や新規就農の移住者も多く、それぞれが環境に配慮した発信や生活を続けています。それらの方々との協同での事業「猪口でつながるプロジェクト」、子どもから大人まで楽しく学ぶ「民芸館学校」で、手仕事の大切さや可能性を発信していきます。 昔の生活の良いところを引き継ぎ、環境問題をクリアした持続可能な暮らしのある地域づくりを提案していきます。
対象となる人・範囲	小学生以上
事業の効果、達成目標 （達成目標はできる限り数値で示すこと） 記載ポイント 事業の ・公益性	「猪口でつながるプロジェクト」・・・望月の3店舗（Yushi Café、The OK bread&pizza、Gusk）で、多津衛民芸館のコレクションである江戸時代の猪口を器として使い、各店舗のメニューとのコラボレーションを展開します。多くの若い世代にも大量生産された商品ではなく「民藝（手仕事）」の良さを知ってもらう機会となることが期待できます。 「民芸館学校」・・・子どものためのワークショップ（木工、アート、陶芸、各回定員10名ずつ）、大人のためのアート講座「アート・コーヒー・クラブ」（全7回、各定員10名）、子どもから大人まで参加可能な「中山道望月塾歴史講座」（店員15名）で、手仕事によるものづくり、文化芸術や歴史に触れる体験をすることで、持続可能な生活や文化に興味を持ってもらうことを期待しています。 また、敢えて定員を少人数にすることで、参加者に丁寧な指導や意見交換が可能になり、内容をしっかり心に刻み、成果を持ち帰ってほしいと願っています。 「手仕事」の良さを発信することは、今の大量生産、大量廃棄の社会のシステムに対して考える機会になります。また、民芸館学校の各回での話の中で、環境の問題に触れる機会を作っていき、参加者と一緒に考える時間を設けていきたいと思っています。
詳細 （活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する）	「猪口でつながるプロジェクト」 2023年3月 各店舗に猪口貸し出し 6月下旬 コースターデザイン依頼 7月 コースター完成、プロジェクト開始 「民芸館学校」 2023年4月 各回の講師に依頼、内容の打ち合わせ 6月下旬～7月上旬 内容決定、教育委員会に後援依頼 7月 パンフレット制作 7月 告知、宣伝開始（パンフレットを市内の小中学校に配布）

記載ポイント 事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立 促進	9月3日 木工ワークショップ「木を知る、木と遊ぶ、木で創る」開催 講師：曾我一朗(家具工房TE.TE.RO) 9月10日 アート・コーヒー・クラブ開始 (以降、9月24日、10月8日、11月5日、12日、26日、12月3日 全7回) 講師：ロジャー・マクドナルド(アートキュレーター) 10月1日 アートワークショップ「めでで ふくらんで はな」開催 ※講師のピアノの音色とのコラボレーションによる創作の時間あり。 講師：駒場拓也 10月22日 歴史講座「中山道望月宿を歩く」 講師：吉川徹(多津衛民芸館館長) 11月19日 陶芸ワークショップ「お気に入りの器創り」開催 12月3日・・・焼き上がった器に釉薬を付ける 講師：小池たき子(多津衛民芸館焼き物教室講師)
重点テーマに 該当する理由	※該当する場合のみ記入
翌年度以降の 取組	「猪口でつながるプロジェクト」継続して行う予定です。望月地区以外にもこの企画に興味を持って下さっている店舗もあり、取り扱い店を広げ、手仕事である民藝の品の良さを発信し続ける予定です。 「民芸館学校」も今年度の内容は継続し、徐々に他のものづくりのワークショップのプログラムも増やしていきたいと考えています。子どもたちに、手仕事の良さを体験してもらうだけでなく、ものづくりを生業をしているプロの仕事を身近に感じてもらうことで、これからの自分や世の中について考えるきっかけ委になることも願っています。